

2018年10月1日

関係各位

会社名:三井物産株式会社
代表者名:代表取締役社長 安永竜夫
(コード番号:8031)
本社所在地:東京都千代田区丸の内
一丁目1番3号

西豪州ローブリバー・ジョイントベンチャーの鉄鉱山における新規鉱区開発を決定

三井物産株式会社(本社:東京都千代田区、社長:安永竜夫)は、新日鐵住金株式会社及びRio Tintoと共同で保有する、西オーストラリア州鉄鉱石事業であるRobe River Iron Associates(ローブ・リバー・アイアン・アソシエイツ)において、ローブバレー鉄鉱山の未開発鉱区とウエスト・アンジェラス鉄鉱山の未開発鉱区の開発を決定しましたのでお知らせします。

以上

「添付」 西豪州ローブリバー・ジョイントベンチャーの鉄鉱山における新規鉱区開発を決定

本件に関する問合せ先:三井物産(株)
IR部 TEL:03(3285)7588
広報部 TEL:03(3285)7596

ご注意:

本発表資料には、将来に関する記述が含まれています。こうした記述は、現時点で当社が入手している情報を踏まえた仮定、予期及び見解に基づくものであり、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包するものです。かかるリスク、不確実性及びその他の要素によって、当社の実際の業績、財政状況またはキャッシュ・フローが、こうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。こうしたリスク、不確実性その他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。また、本発表資料は、上記事実の発表を目的として作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

2018年10月1日

三井物産株式会社
新日鐵住金株式会社

西豪州ローブリバー・ジョイントベンチャーの鉄鉱山における新規鉱区開発を決定

三井物産株式会社（社長：安永竜夫、以下「三井物産」）と新日鐵住金株式会社（社長：進藤孝生、以下「新日鐵住金」）とは、世界有数の鉱物資源会社 Rio Tinto（以下「リオ・ティント社」）と共同で保有する、西オーストラリア州鉄鉱石事業である Robe River Iron Associates（ローブ・リバー・アイアン・アソシエイツ、以下「ローブ J/V」：リオ・ティント社 53%、三井物産 33%、新日鐵住金 14%）において、ローブバレー鉄鉱山の未開発鉱区（Mesa B/C/H）とウエスト・アンジェラス鉄鉱山の未開発鉱区（Deposit C/D）の開発を決定しました。

現在操業中のローブバレー鉄鉱山、及びウエスト・アンジェラス鉄鉱山とも既存鉱区の終掘が近づいておりますが、既存鉄道・港湾インフラを活用し隣接する未開発鉱区を開発することで、両鉄鉱山とも既存の年間生産能力を維持していきます。豪州政府より開発・環境許可取得次第、開発に着手し生産開始は 2021 年を予定しております。

本開発による総支出額は 1,546 百万米ドル（約 1,701 億円）を見込んでおり、持分比率に応じて三井物産は 510 百万米ドル（約 561 億円）、新日鐵住金は 216 百万米ドル（約 238 億円）の投資を行うこととなります。

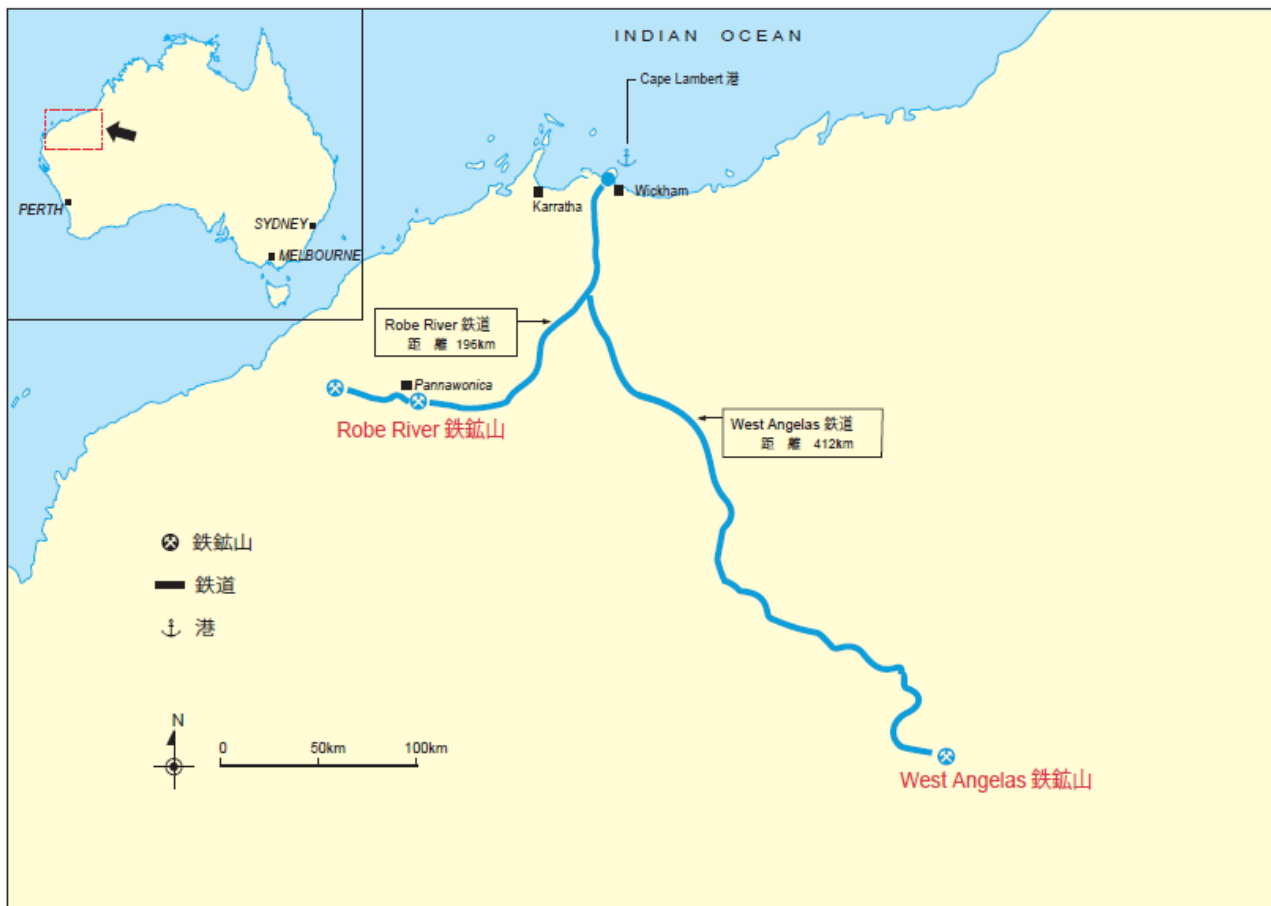
三井物産、新日鐵住金は、リオ・ティント社と共にローブ J/V を通じて、今後も需要の増加が見込まれる鉄鉱石の安定供給・調達の実現に努めて参ります。

（お問い合わせ先）

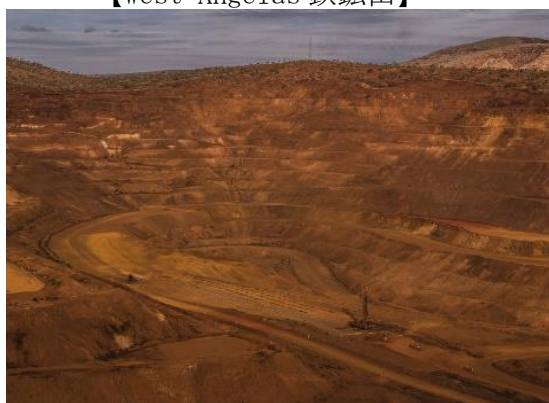
三井物産株式会社	IR 部	TEL : 03(3285)7588
	広報部	TEL : 03(3285)7596
新日鐵住金株式会社	総務部広報センター	TEL : 03(6867)3419

以上

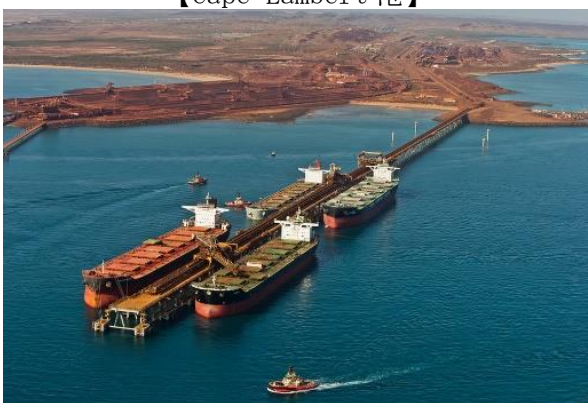
西豪州 Pilbara 地図



【West Angelas 鉄鉱山】



【Cape Lambert 港】



【鉄鉱石輸送専用鉄道】

